

特別展

遥かなるルネサンス 天正遣欧少年使節がたどったイタリア

[開催概要](#) | [展覧会内容](#) | [入館料金](#) | [関連イベント](#)

小中大



平成29年（2017）4月22日（土曜日）  
～7月17日（月曜日・祝日）《75  
日間》

開館時間：

9時30分～17時30分

（土曜日は19時まで、入館は閉館の30分前まで）

休館日：

月曜日 [ただし、7月17日（月曜日・祝日）  
は開館]

ブロンズイーノ

《ピア・デ・メディチの肖像》1542年頃


ウフィツィ美術館

©Gabinetto Fotografico delle Gallerie degli Uffizi

16世紀、キリスト教の世界布教にとめない宣教師が日本にもやってきます。イエズス会士ヴァリニャーノは、日本における布教をさらに深めるために、日本人信徒をヨーロッパに派遣します。後世に名高い「天正遣欧少年使節」です。使節に選ばれた伊東マンショら4人の少年たちは、1582年に長崎からイタリアに向けて旅立ち、ローマで教皇グレゴリウス13世に謁見(えっけん)、訪問する各地で手厚いもてなしを受けました。

本展では、天正遣欧少年使節が訪れたイタリア各地の都市の芸術を紹介し、彼らの足跡をたどります。ブロンズイーノやティントレットの絵画作品を始め、タピスリー、陶器、ガラスなどの工芸品や書簡資料など、約70件の資料が当時のヨーロッパを追体験させてくれることでしょう。

★神戸市立博物館フェイスブックページはこちらです★

 [会場の神戸市立博物館の所在・交通](#)

※**展覧会公式ホームページはこちら**です。

★★**報道関係の皆様へ**★★

開会式や記者内覧会の日程、展覧会広報のための作品写真の掲載・提供は、**記者提供資料**をご覧ください。

## 展覧会の構成と主な出品作品

出品点数約70件

※出品目録は**こちら**。

天正遣欧少年使節一行は、スペインを經由して、1585年3月1日にリヴォルノ港に到着し、イタリアへの第一歩を印しました。本作はクリストファノ・ガッファリの手によって、3年の歳月をかけて製作された象嵌(ぞうがん)細工のテーブルで、メディチ家の庇護(ひご)のもと発展した、貴石(きせき)加工技術の粋を見ることができます。



大公の工房、クリストファノ・ガッファリ  
(ヤコポ・リゴッツィの作品に基づく)  
《リヴォルノ港の景観》1601-04年  
ウフィツィ美術館

©Gabinetto Fotografico delle Gallerie degli Uffizi



ローマの画家

《ヨーロッパ内外にセミナリオを設立するグレゴ

画面中央の天蓋(てんがい)の下に座った教皇グレゴリウス13世が、世界各地でのセミナリオ設立の意思を、イエズス会士たちに託(たく)す場面が描かれています。跪(ひざまず)くイエズス会士が教皇から渡されている書類には「日本(ヤポニクム)」の文字も見えます。本作はグレゴリウス13世が援助したローマ学院(現在はグレゴリアン大学)のために描かれました。

リウス13世》  
16世紀末-17世紀初頭  
グレゴリアン大学

マヨリカ陶器はイスラム文化の影響を受けたスペイン発祥の工芸品で、イタリアでは15世紀に最も生産が盛んになりました。錫(すず)の釉薬によって生み出された独特の白地の背景に鮮やかな深みのある暖色を塗り重ねることで見事な色彩のコントラストが生まれています。本作は、ウルビーノで最後の大工房であったパタナツィ工房で制作された貴重な製品です。



ウルビーノ窯、パタナツィ工房  
《市民を救うカエサルが描かれた大皿》  
1580-90年頃 マヨリカ陶器  
バルジェッロ美術館  
©Gabinetto Fotografico delle Gallerie degli  
Uffizi



ドメニコ・ティントレット  
《伊東マンショの肖像》 1585年

1585年6月に天正遣欧少年使節がヴェネツィア共和国を訪問した際に、元老院によってヤコポ・ティントレットに発注された肖像画。のちに息子のドメニコが完成させたものです。同時代の文献から、肖像画が発注されたことは知られていましたが、絵画の存在は不明のままです。しかし、2014年にトリヴルツィオ財団の調査によってその存在が確認され、大きな話題となりました。

## トリヴルツィオ財団

本作は、王女レダに恋した神ユピテルが白鳥の姿に変身し、彼女と交わるというギリシャ神話の物語の場面を描いたもので、イタリアルネサンス期によく描かれた主題でした。本作では、ヴェネツィア派を代表する画家ティントレットの絵画様式の大きな特徴である豊かな色彩と明暗の対比を見ることができます。



ティントレット（ヤコポ・ロブスティ）

《レダと白鳥》1551-55年

ウフィツィ美術館

©Gabinetto Fotografico delle Gallerie degli Uffizi



ポンペオ・デッラ・カーザに帰属

《ヴィンチェンツォ1世・ゴンザーガの冑》

1584年頃

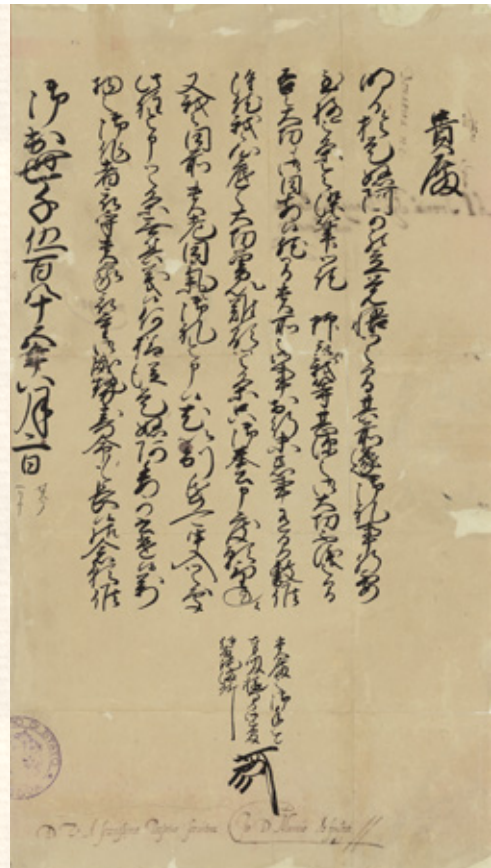
トリノ王立兵器博物館

©Musei Reali di Torino - Armeria Reale

使節一行は、ローマを出立後、マントヴァの町を訪れました。町ではマントヴァ公の息子ヴィンチェンツォ1世が彼らをもてなしました。別れ際、ヴィンチェンツォ1世は彼らに贈り物をしましたが、そのなかには「黄金の飾りが付いた鋼鉄の鎧」があり、一行はその鎧の堅牢(けんろう)さと美しさ后感嘆したといます。その鎧はこの冑(かぶと)のように光り輝くものだったのかもしれませんが。

1585年3月にローマ教皇との謁見(えっけん)を無事終えた使節一行は同年6月に帰路に就き、ヴェネツィア訪問ののち、6月にゴンザーガ家が支配するマントヴァ公国を訪れています。当時のゴンザーガ家の当主はグリエルモ・ゴンザーガで、使節はここでも大いに歓待されています。本資料は、マントヴァのあとを訪れ

たミラノにおいて、使節の正使である伊東マンショがマントヴァ公子のヴィンチェンツォに宛てた感謝の手紙です。



《伊東マンショからヴィンチェンツォ・ゴンザーガにあてた手紙》

1585年8月2日付

マントヴァ国立文書館、ゴンザーガ文書館

©Mantova, Archivio di Stato

- 主 催：神戸市立博物館、神戸新聞社、MBS、朝日新聞社  
 後 援：外務省、イタリア文化財・文化活動・観光省、イタリア大使館、イタリア文化会館、サンテレビジョン、ラジオ関西  
 協 賛：アリタリアーイタリア航空、アルテリア、ヤマトロジスティクス  
 特別協力：ウフィツイ美術館  
 企画協力：東京富士美術館

### ★入館料（企画展、常設展も合わせてご覧いただけます）

	当日券	前売券	団体券(20名以上)
一 般	1,300円	1,100円	1,100円
大学生	900円		700円
高校生	700円		550円
小・中学生	500円		350円

※65歳以上で「神戸市すこやかカード（老人福祉手帳）」持参の方は当日一般料金が半額。

※障がいのある方は障がい者手帳などの提示で無料。

※小中学生で「のびのびパスポート」をお持ちの方は、同パスポートの提示により無料。

※前売券は平成29年4月21日（金曜日）まで販売

## ★関連イベント★

### ◆記念講演会

(1) 平成29年（2017）4月30日（日曜日） 14時～15時30分

「ルネサンスからマネリスムへ」

講 師：岡田 温司 氏（京都大学大学院 教授）

(2) 平成29年（2017）5月14日（日曜日） 14時～15時30分

「ヨーロッパの知識を日本に伝える一天正遣欧少年使節の背景と意味するもの」

講 師：シルビオ・ヴィータ氏（京都外国語大学 教授）

(1)(2)いずれも

会 場：神戸市立博物館 地階講堂

定 員：各日160人

※聴講無料（ただし、本展観覧券が必要。当日、13時より講堂前で入場整理券を配布します。）

### ◆コンサート

平成29年（2017）4月23日（日曜日） 14時～15時30分

「イタリアを訪れた天正遣欧少年使節団と当時の器楽曲（1585～1613年）」

演 奏：アカデミア・デル・リチェルカーレ

会 場：博物館 地階講堂 定員：当日先着順（各日定員160名）

参 加 費：聴講無料（本展観覧券が必要） ※当日13時から講堂前で入場整理券を配布

### ◆イブニング・レクチャー（学芸員による展覧会の見どころ解説）

■日 時：会期中の毎週土曜日 午後5時から約30分

■会 場：神戸市立博物館 地階講堂

■定 員：160名

※聴講無料（ただし、本展観覧券が必要。各当日先着順です。）

### ◆ジュニアミュージアム講座（展覧会関連の参加型ワークショップ）

(1) 平成29年（2017）5月28日（日曜日） 10時～12時

「きみだけの仮面舞踏会マスクをつくってみよう！」

(2) 平成29年（2017）6月25日（日曜日） 10時～12時

「天正遣欧少年使節を屏風絵にえがいてみよう！」

(1)(2)いずれも

対 象：小学4年生～中学生

定 員：各回20名（応募多数の場合は抽選）

参 加 費：500円【ただし、付き添いの保護者の方は入館料（団体割引適用）が必要です。】

#### ◎申込方法

・往復葉書に希望講座の講座名、参加希望の子供全員の名前、学年、電話番号、返信用の宛名を記入し、「神戸市立博物館 子供プログラム係」まで郵送。

・1枚の葉書で、本人を含めて3名まで申し込み可。その場合、参加希望の子供全員の名前を記入。

・1枚の葉書で複数の講座への申し込みは不可。

申込先：〒650-0034 神戸市中央区京町24番地 神戸市立博物館 子どもプログラム係

【しめきり】ジュニアミュージアム講座：(1)5月13日（土曜日）／(2)6月10日（土曜日）※いずれも当日消印有効

### ◆こどもの日スペシャル

《子供向けのやさしい解説会のあと親子で展覧会を鑑賞します》

日 時：5月5日（金曜日・祝日）

午前の部＝10時30分～12時／午後の部＝14時～15時30分（※解説会30分）

対 象：小中学生の子供とその保護者

定 員：各回先着50組（当日受付）

参加費：無料【ただし入館料が必要】

参加方法：各回開始30分前から地階講堂前で整理券を配布

### 広報用画像のお問い合わせ

特別展「遙かなるルネサンス 天正遣欧少年使節がたどったイタリア」PR事務局

（TMオフィス内）担当：馬場、石原、清水

〒541-0046 大阪市中央区平野町4-7-7 平野町イシカワビル8階

TEL：06-6231-4426 FAX：06-6231-4440 e-mail：harukanaru@tm-office.co.jp